

Technology Support on the Leading Edge



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

アドバンテストグループの2016年度上半期における事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当上半期の半導体関連市場は、中・低価格帯スマートフォンの高機能化と販売台数拡大および高価格帯スマートフォンの新製品投入に牽引され、スマートフォン関連の部品需要が好調に推移しました。

このような事業環境のもと、当社は、需要の盛り上がりを見せるロジック半導体用テストなどの受注獲得に努めました。その結果、当上半期の受注高は723億円、売上高は762億円、営業利益は83億円、当期利益は73億円となりました。

今後の事業環境につきましては、非メモリ半導体用テストシステムは総じて堅調な需要を見込んでいます。また、より高速・大容量なDRAMやNAND型フラッシュメモリの一層の普及拡大を背景に、当社のメモリ半導体用テストシステムやSSD用テストシステムの需要拡大を当下半期に予想しています。

通期連結業績予想につきましては、売上高は2016年7月予想の1,560億円を据え置きますが、営業利益は110億円から145億円へ、当期利益は85億円から120億円へ、それぞれ上方修正いたしました。

また、2016年度の中間配当金は、1株につき13円といたしました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

メモリ・テスト・システム「T5851」が「フラッシュ・メモリ・サミット」で「Best of Show Award」を受賞



▲「T5851」テスト・システム

「T5851」は、スマートフォン、タブレット、ノートPCなどのモバイル機器に使用される、高性能・低消費電力の次世代高速メモリUFS (Universal Flash Storage)やBGA (Ball Grid Array)パッケージ型PCIe (PCIexpress) SSD (Solid-State Drives) 向けのテスト・システムです。

このたび、「T5851」が、アメリカのサンタクララで開催された「第11回フラッシュ・メモリ・サミット」において、最高の賞にあたる「Best of Show Award」を受賞いたしました。

フラッシュ・メモリの性能、利便性、耐久性、電力効率向上に貢献する「T5851」の画期的なテスト手法が、審査員各位から高い評価をいただきました。

当社は、低消費電力モバイル機器向けに活況が続くNANDフラッシュ・メモリ市場において、「T5851」の先進性が認められたことを誇りに思うとともに、これからも顧客満足度のさらなる向上を目指してまいります。

SSDテスト・システムの新製品「MPT3000HVM」を販売開始



▲「MPT3000HVM」テスト・システム

「MPT3000HVM」は、さまざまな品種のSSDに対応したSSDの量産試験向けテスト・システムです。従来の「MPT3000ENV」および「MPT3000ES」は、主にSSDの開発段階で使用するテスト・システムでした。今回「MPT3000HVM」がラインナップに加わることにより、開発段階のみならず量産段階でもSSDを試験することができるようになりました。

SSDの出荷量は2020年までには3億個に達すると予測されています。市場ではさまざまな品種に対応可能かつコストの低いテスト・ソリューションが求められています。「MPT3000HVM」は従来の「MPT3000」シリーズ製品と同様に、一台でSSDの主要なプロトコルを全てカバーします。また、インターフェースボードを交換することで、さまざまな形状のSSDを一台のシステムで測定することができ、SSDの品種を変更した場合でも短い中断時間で測定を再開できる画期的な製品となっています。

NEW PRODUCT

テスト・システム「V93000」の新アナログ・モジュール「AVI64」および高周波デバイス向け新テスト・ソリューション「Wave Scale™」の販売開始



▲「Wave Scale™」等のモジュールを使用する「V93000」テスト・システム(写真はAクラス)

「AVI64」および「Wave Scale™」は、「V93000」で使用するモジュールです。

「AVI64」は、アナログ用モジュールです。「V93000」に「AVI64」モジュールを使用することで、成長著しいモバイル、自動車電子化を支えるアナログ/パワーデバイスを効率良く、低コストでテストできることとなります。

「Wave Scale™」は、高周波デバイス測定用のモジュールです。「V93000」に「Wave Scale™」モジュールを使用することで、第5世代移動通信(5G)に使われていく高周波デバイスや無線通信用ミクスド・シグナルICを極めて高い同時測定能力でテストできることとなります。これにより「V93000」は、テストコスト削減のみならず、お客様のデバイスが市場に出るまでの時間を短縮することに大きく貢献します。

これらの製品がラインナップに加わることにより、「V93000」プラットフォームは高性能SoC(System on Chip)から、高周波デバイス、少ピン・アナログICまで幅広いデバイスを単一プラットフォームでテストすることが可能となります。これにより「V93000」は、成長著しいモバイル用デバイス、車載デバイス、IoT(Internet of Things)向けデバイス、高周波デバイスの試験に最適なシステムとなりました。

NEW PRODUCT

ダイ・レベル・ハンドラ「HA1000」発売

「HA1000」は、パッケージする前の個々のICチップをテスト・システムに高い精度で搬送する装置です。

半導体の量産プロセスでは、手戻り防止、歩留り向上およびテストコスト削減のため、ウエハ切断後、パッケージ前の個々のICチップをテストする「ダイ・レベル・テスト」の重要性が高まっています。「HA1000」により、フルデバイス試験を、アセンブリ工程の前で実施することができ、以前より

も早い段階で良否を判定できるようになりました。これにより、お客様の歩留り向上により応えることができるようになりました。

「HA1000」は、サーバー/GPU(Graphics Processing Unit)のようなハイパワーで大型のデバイス、デバイス厚の極めて薄いデバイス、HBM(High Bandwidth Memory)のような狭ピッチのデバイスなど幅広いデバイスに対応しています。



◀「HA1000」ダイ・レベル・ハンドラ

小さなボディのフレキシブルな無線温度ロガー「AirLogger™」に 米国対応製品登場

「AirLogger™」とは、温度測定ユニットから、無線通信を利用して測定データを直接パソコンへ表示／保存する画期的なワイヤレスの温度ロガーです。給電にはボタン電池、データ通信には無線を利用することで、温度測定ユニットの小型化と完全ケーブルレス化を実現しました。これにより、お客様の作業効率を飛躍的に向上させることができるようになりました。

「AirLogger™」では、最大100ポイントの温度を同時測定することができるだけでなく、従来測定が困難であったタイヤ等の回転体や動体、広域温度も容易に測定できます。

そしてこのたび、日本国内仕様の「WWM1010」に続き、米国対応製品として「AirLogger™ WM1000」をリリースしました。配線作業の煩わしさから解放されることにより、お客様の作業効率を飛躍的に向上させる製品が、米国でもご利用いただけるようになりました。



▲「AirLogger™」

TOPIC

ADVANTEST EXPO 2016 開催



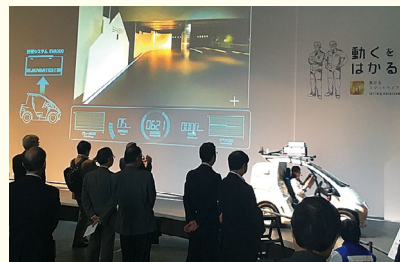
最先端を

未来が

はかる ➡ ミエル



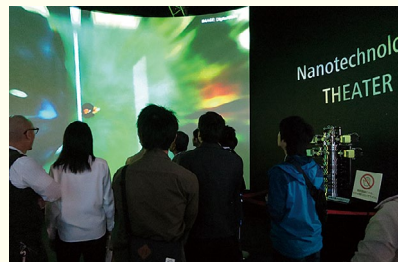
本年10月13日から15日にかけて東京秋葉原 UDX 2F AKIBA_SQUAREにて、未来に貢献する計測技術を体感できる展示会「ADVANTEST EXPO 2016」を開催しました。「動くをはかる」「カラダをはかる」「ナノをえがく」と題した3ゾーンで、車、医療、美容など暮らしにかかわる最先端の計測技術を紹介し、盛況のうちに幕を閉じました。



▲電気自動車に当社の小型計測システム (EV A100) を搭載し、中央のスクリーンにEVA 100からの実測データを表示しました。



▲微小な穴をあけてウイルスなどの体内物質を測る技術 (ナノフィルターキャプション) を紹介しました。



▲ナノテクノロジーに関する映像をご覧いただきました。

連結財務諸表 (IFRS)

当社の連結決算数値は国際会計基準(IFRS)に基づいて作成しています。

連結財政状態計算書

(単位:百万円)

科目	2015年度 (2016年3月末)	2016年度上半期 (2016年9月末)
〔資産〕		
流動資産	150,396	151,399
現金および現金同等物	85,430	95,090
営業債権およびその他の債権	28,005	18,990
棚卸資産	33,912	34,244
その他の流動資産	3,049	3,075
非流動資産	60,055	55,617
有形固定資産	31,451	30,270
のれんおよび無形資産	16,726	14,926
その他の金融資産	3,542	2,726
繰延税金資産	8,038	7,406
その他の非流動資産	298	289
資産合計	210,451	207,016

科目	2015年度 (2016年3月末)	2016年度上半期 (2016年9月末)
負債および資本 〔負債〕		
流動負債	29,434	45,571
営業債務およびその他の債務	22,101	22,551
社債	—	15,000
未払法人所得税	1,548	2,224
引当金	1,709	1,737
その他の金融負債	487	438
その他の流動負債	3,589	3,621
非流動負債	87,398	71,661
社債	44,618	29,681
その他の金融負債	65	43
退職給付に係る負債	41,076	40,539
繰延税金負債	358	228
その他の非流動負債	1,281	1,170
負債合計	116,832	117,232

科目	2015年度 (2016年3月末)	2016年度上半期 (2016年9月末)
〔資本〕		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	44,478	44,458
自己株式	△94,585	△92,466
利益剰余金	105,190	109,456
その他の資本の構成要素	6,173	△4,027
親会社の所有者に帰属する持分合計	93,619	89,784
資本合計	93,619	89,784
負債および資本合計	210,451	207,016

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	2015年度上半期	2016年度上半期
売上高	86,347	76,195
売上原価	△40,039	△29,850
売上総利益	46,308	46,345
販売費および一般管理費	△39,716	△38,128
その他の収益	274	231
その他の費用	△189	△130
営業利益	6,677	8,318
金融収益	154	908
金融費用	△753	△111
税引前利益	6,078	9,115
法人所得税費用	△3,101	△1,854
当期利益	2,977	7,261

セグメント別売上高

(単位:百万円)

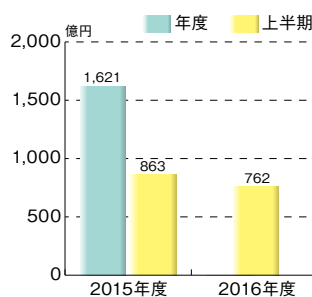
科目	2015年度上半期	2016年度上半期
半導体・部品テストシステム事業	50,972	51,338
メカトロニクス関連事業	20,158	10,891
サービス他	15,241	14,004
内部取引消去	△24	△38
合計	86,347	76,195

連結キャッシュ・フロー計算書

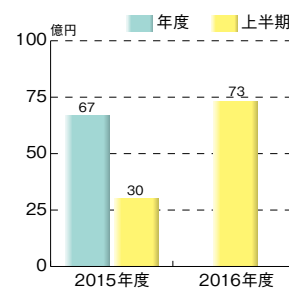
(単位:百万円)

科目	2015年度上半期	2016年度上半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,479	18,244
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,417	△1,440
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,747	△1,100
現金および現金同等物に係る換算差額	617	△6,044
現金および現金同等物の純増減額(△減少)	△11,068	9,660
現金および現金同等物の期首残高	97,574	85,430
現金および現金同等物の期末残高	86,506	95,090

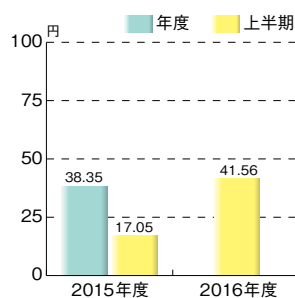
売上高(連結)



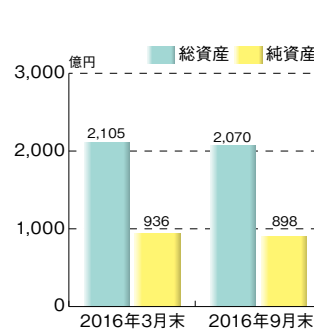
当期利益(連結)



1株当たり当社株主に帰属する当期利益(連結)



総資産・純資産(連結)



配当方針の変更

当社は、2016年8月の取締役会において、配当の指標を従来の「安定的な配当にも配慮しつつ、基本的には連結配当性向20%以上」から、より業績連動に重点を置いた「半期連結配当性向30%」へ変更することを決議しました。この配当方針に基づき、2016年度の間配当金は、1株当たり13円といたしました。

会社概況・株式の状況 (2016年9月30日現在)

■ 会社の概要

商号	株式会社アドバンテスト ADVANTEST CORPORATION
本店	東京都練馬区旭町1丁目32番1号
本社事務所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目6番2号 新丸の内センタービルディング TEL. 03-3214-7500
設立	1954年12月2日
従業員	4,475名(連結) ※上記従業員には、派遣社員等を含んでおりません。
上場	東京証券取引所第1部(コード:6857)

■ 役員

代表取締役	黒江 真一郎
取締役	唐津 修 吉川 誠一 明 世範 吉田 芳明 中村 弘志
取締役 監査等委員	栗田 優一 山室 恵 萩尾 保繁
執行役員社長	黒江 真一郎
専務執行役員	明 世範 吉田 芳明
常務執行役員	中村 弘志 Hans-Jürgen Wagner 塚越 聡一 南雲 悟 津久井 幸一
執行役員	杉浦 孝 関野 隆 Josef Schratzenstaller 中原 真人 岡安 俊幸 CH Wu 山下 和宏 Wilhelm Radermacher 山田 益弘 佐々木 功 Keith Hardwick Douglas Lefever 加藤 俊介 阪本 公哉 藤田 敦司 徐 勇

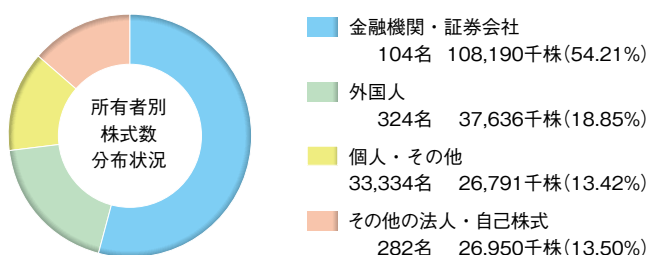
■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	32,248	18.41
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 富士通口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	20,143	11.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	17,326	9.89
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	6,110	3.48
ゴールドマン・サックス証券株式会社	4,184	2.38
BNYML-NON TREATY ACCOUNT	3,813	2.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	3,682	2.10
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,578	1.47
THE BANK OF NEW YORK	1,982	1.13
JP MORGAN CHASE BANK	1,945	1.11

(注) 1. 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(24,434千株)を除いて計算しております。
2. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てています。
3. みずほ信託銀行株式会社退職給付信託富士通口再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社の所有株式数20,143千株は、富士通株式会社が所有していた当社株式を退職給付信託として委託した信託財産であり、議決権については富士通株式会社の指図により行使されることとなっております。

■ 株式の状況

発行可能株式総数	440,000,000 株
発行済株式の総数	199,566,770 株
株主数	34,044 名



株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当金	毎年3月31日
	中間配当金	毎年9月30日
単元株式数	100株	
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL. 0120-232-711 (通話料無料)	
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.advantest.com/investors/ (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。)	

特別口座の口座管理機関	東京証券代行株式会社
同連絡先	東京証券代行株式会社 事務センター 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL. 0120-49-7009 (フリーダイヤル)

(ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお待ちしております。